

## 島根原発・エネルギー問題県民連絡会の最近の取組みについて

当県民連絡会は、鹿児島県川内原発の再稼働や新しい三反園知事による原発一時停止要請、愛媛県伊方原発の再稼働への動き、福井県高浜原発の運転差し止め訴訟による運転停止状況等の各地原発の動き、国レベルでの再生可能エネルギーや省エネ、電力自由化等の動きを注視し、また島根県内の島根原発2号機の再稼働に関する動きや再生可能エネ・省エネ等への取組みに大きな関心を持ち、さよなら島根原発ネットワーク、原発ゼロをめざす島根の会、平和フォーラムしまね等の関連団体とも連携して、次のような活動に取り組んでいます。

### 1. 『島根原発再稼働認めない！』署名大行動

現在、原子力規制委員会によって島根原発2号機の規制基準適合性審査が行われていますが、この審査において仮に適合が出た場合でも、主に①原発の安全性確保、②原発事故、災害時の避難、③原発使用済み核燃料・放射性廃棄物の処分、の観点にまだまだ重大な問題があることから、島根県知事及び松江市長宛に「島根原発の再稼働を認めない、地元同意をしないこと」を要請する署名活動です。

2016年3月から署名行動を開始し、この9月から本格的な署名行動に入ります。(途中、参議院選挙等があったことにより、しばらく中断していました)。第3次締め切りを本年12月末として再活動しますので、是非署名主旨に賛同の上、署名にご協力・ご支援下さい。また、署名を呼びかけ、集めて頂く「署名取扱者」に多くの人になって下さい。多くの署名が集まるかどうかは、この署名取扱者にかかっています。

この署名行動の主旨や要請事項、署名の方法などについては、「署名用紙」および「島根原発再稼働NOリーフレット」をお読み下さい。

#### ★「署名大行動キックオフ集会（9月17日開催）」参加への呼び掛け

この署名行動を本格的に再開するにあたり、別紙の「署名大行動キックオフ集会チラシ」にあるように9月17日に署名大行動キックオフ集会を開催します。この集会での基調講演として、福島県浪江町の馬場有町長に遠路来て頂き、「福島第一原発事故 その時浪江町は」と題して講演頂きます。福島県の原発事故による影響や対応、現在の状況等の生の声を聴いて頂くとともに、署名大行動の再スタートとしたいと考えます。是非、多数の人の参加をお願いします。

### 2. 島根県知事及び松江市長宛の「原子力災害広域避難計画」に関する公開質問

前記の署名大行動のいっかんとして、島根原発重大事故・災害発生時の島根県および松江市の原子力災害広域避難計画（対策）に重大な問題があること、および重大な問題を残したまま（再）稼働を立地自治体として同意することに重大な問題があることを指摘するとともに、これらの重大な問題やこれへの島根県・松江市の対応具合を広く島根県民・松江市民の皆さん、ひいては全国の皆さんに知って頂くことを目的に報道機関公開にて行っています。

#### (1)経緯

5月2日：島根県知事宛質問提出（第1回：基本5項目）

5月16日：松江市長宛質問提出（第1回：基本5項目）

7月6日：島根県知事宛質問への回答（第1回） ※県・市とも2ヶ月もかかっていたの回答です

7月7日：松江市長宛質問への回答（第1回）

7月28日：島根県知事宛第2回質問（第1回回答への再質問+詳細質問）

8月2日：松江市長宛第2回質問（第1回回答への再質問+追加質問）

※県・市とも今回も1カ月以上も経っているのに回答の連絡がありません（2016.9.12時点）。

#### (2)主な質問項目

##### ①基本質問（5項目）

（島根県）

福島原発事故の避難からの教訓、再稼働についての同意・不同意の地元判断基準（地元同意を可とするに足る避難計画の具体的な水準）、避難計画の現状の水準の評価、30Km圏外の地域の避難計画、熊本地震を踏まえた避難計画の有効性

(松江市)

福島原発事故の避難からの教訓、再稼働についての地元判断基準（地元同意・不同意を分ける境界線としての避難計画の具体的な実効性）、避難計画の現状の実効性（再稼働に同意できる水準）、30Km 圏内の自治体への同意・不同意権限の働きかけ、熊本地震を踏まえた避難計画の有効性

☆島根県・松江市ともに回答期限を大幅に超えて時間をかけた割には総じて誠に不十分な回答であり（国の考えの受け売りや丸投げ、具体的な判断基準を問うているのに総合的な判断など）、これらの回答に対して第 2 回再質問（下記の追加質問を含む）をしています。

②島根県宛詳細質問（第 2 回で追加）

段階的避難の有効性、福祉施設・病院・在宅要支援住民のための避難支援、避難する際のスクリーニングと除染の基準、移住計画の必要性、避難先の受け入れ体制、避難住民の PTSD 発症予防などの対策

③松江市宛追加質問（第 2 回で追加）

地震災害時の避難方法への具体的な対策、風向きによっての避難方法、最悪ケースでの避難計画、観光立脚・企業誘致と原発災害リスク、観光客やビジネス出張者への避難計画周知、避難生活・帰還・移住・補償などの総合的な避難計画の必要性、避難対策への増大する税金投入、放射能影響災害時の松江市職員対応、避難計画・対策の総合的な検証（試験）

☆島根県や松江市の回答に時間がかかっていたり、国への問い合わせ・調整が必要だったりということは、これらの基本的かつ重要な質問事項に対して普段から整理して考えていないということであり、また立地自治体としての主体性がないことを示していると考えます。このようなことでは、いざ実際に緊急事態となる原発事故・災害が発生した時に迅速な対応が出来るとはとても思えません。立地自治体自体の体制やシステムにも大きな問題があると言わざるを得ません。

☆広域避難計画（対策）に関する質問に引き続いて、原発安全性や使用済放射性核燃料に関しても公開質問を予定しています。

### 3. 避難計画学習会「島根原発事故時の放射能拡散シミュレーション」開催

4月9日にこの学習会を開催しました。この放射能拡散シミュレーションによりますと、事故時の風向きによっては、東西南北、どの方向にも放射性物質が流れていくこと、例えば、松江市民の主な避難先である出雲市・大田市方面はもとより、広島県、岡山県、鳥取県、隠岐諸島までも放射性物質が拡散し、計画にある避難先方向自体が危ないこと、また避難者を受け入れる立場にある自治体自身の住民が避難を考えなければならない事態にもなりうることなど、重大な問題があることがよくわかりました。このことも、前記の公開質問にて問題を問うていきます。

### 4. その他の取組み

県民連絡会の関連団体である「島根原発・エネルギー問題松江地域連絡会」および「市民共同発電まつえ」では、再生可能エネルギー・省エネに関する取組みも行っており、市民共同によるモデル太陽光発電所の運営や再エネ・省エネに関する各種支援・学習会、電力自由化に関する学習会などの取組みも行っています。

《島根原発・エネルギー問題県民連絡会》

〒690-0003 松江市朝日町 489 三洋苑第一ビル 1 階 D 室

TEL : 0852-67-5731

FAX : 0852-67-5732

E-mail : [info@midori-eneren.com](mailto:info@midori-eneren.com)

HP(URL) : <http://midori-eneren.com/>

★前記のこと等の最新の情報や詳細の情報について、県民連絡会ホームページ（HP）に随時、掲載していますので、アクセスして下さい。